

教科	自立活動	単元名	お話づくりをしよう
----	------	-----	-----------

本時のねらい

状況に応じた言葉で表現し、自分の考えを伝えることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

端末に自分の声を録音することで、聞き返すことができ、自分が相手に伝わる話し方ができているか、語尾や声のトーン、スピードなど、伝え方で印象が変わるということを体感させることをねらいとした。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ GoodNotes
- ・ AirDrop
- ・ keynote
- ・ アプリ（やることカード・Num25・ひらがなシューター）

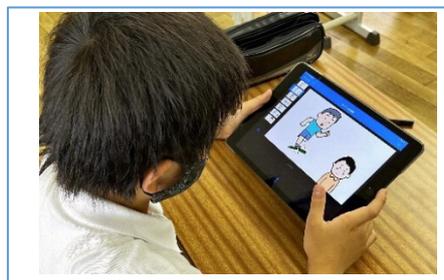
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○やることカード（リタリコアプリ）で、授業の流れを知る。 1、ビジョントレーニング 2、お話づくり 3、振り返り ○ひらがなシューター・Num25 を活用し、ビジョントレーニングをする。【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ○やることカード（リタリコアプリ）で、絵・文字、時間を表示して視覚的にわかりやすく伝える。 ○ひらがなシューター・Num25 の中から自分で課題を選択させる。 ○制限時間内に何度も繰り返すことができるとともに、最高得点がでるとメッセージが出てくるので児童がビジョントレーニングへの意欲を高めることができる。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○keynote の音声入力機能を使って登場人物の気持ちやセリフを入れて、お話づくりをする。 【例】 ・友だちが遊んでいるおもちゃを貸してもらいたい時、どのように言葉をかけるとよいか考えるお話作り。 ・友だちの新品の鉛筆を踏んで折ってしまった時、どのように言葉をかけるとよいか考えるお話づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で入力した音声を再生することで、自分のセリフが相手にどんな風に聞こえているのかその場で確認することができる。 ○スライドショーを使うことで、友だちに自分の作品を見せる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○スライドショーを使い、できたお話を共有する。【写真2】 ○Air drop で課題を受け取り、振り返りをする。【写真3】 【振り返りの項目】 ・どんなお話にするか、自分で考えることができたか。 ・登場人物の気持ちを考えながら、自分の声を入れることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○Air drop を使い、振り返りシートを児童に配付する。 ○振り返りシートを GoodNotes に読み込み、授業を振り返る。 ○作成した振り返りシートと音声挿入をして完成させたスライドショーを教員に送り返すことができるので、教員の iPad でも確認と保存ができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】ビジョントレーニングをしている場面



【写真2】keynoteで音声挿入している場面



【写真3】GoodNotesで振り返りシートに記入している場面

児童生徒の反応や変容

- ビジョントレーニングを iPad で行うことで、得点化されたり、制限時間を計れたりするので、ゲーム感覚で取り組んでいた。
- スライドショーの絵を見ながら、「『ごめん』よりも『～してごめんね』のほうが伝わりやすいな」など自分の音声を聞いたり入れたりしながら考えられていた。
- 振り返りシートを、具体的な質問にし、回答方法も 3 段階の表情の絵を塗りつぶすようにしたため、迷いなく回答できていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 説明しながら、やることカード（アプリ）を見せて流れを説明することで、聴覚優位の児童にも視覚優位の児童にも流れをつかみやすくすることができた。
- 音声を挿入し自分事として捉えられるようにすることで、どのように伝えたらよいか深く考える活動につなげることができた。
- 何度も繰り返し使うことで、自分の好きな場所から音声編集ができたり、追加挿入できたりするようになる。